

瀬戸チップ工業 株式会社

所在地:愛知県瀬戸市掛下町2丁目69番地
事業内容:バレル研磨石・セラミックボールの製造販売

T E L : 0561-84-4328



希望に合わせたセラミックボールの製造・販売

新しいさまざまな材質・成分・特性・粒径のセラミックボール(健康用セラミックボール・水処理用セラミックボール・バイオ担体ボール・触媒担体ボール)を創る!

業況等の動向について

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

様々な原料からセラミックボールを製造する技術があり、これからの環境に配慮した社会に向けて活躍する製品を製造する必要を感じ、多種多様な目的に合わせたセラミックボールを製造するようになった。また、国内外で産出される原料によるセラミックボールの製造に関する問い合わせ・依頼が多くなったため。

参入して最も成果のあったこと及び最も困難だったこと

成果のあったことは、今まではバレル研磨業界の取引先しかなかったが、新たなセラミックボールを製造することにより、知らなかった業界の取引先が出来たこと。更にはその繋がりからの新しい発想による新たなセラミックボールを作ることができ、セラミックに無限の可能性を見出すことができたこと。困難であったことは、新たな取引先の開拓及び信頼関係の構築である。また中小企業であるため、自社所有の検査設備が乏しく、新商品のさまざまな検査・試験を行うためには、研究施設への依頼・大学との連携を行う必要があったこと。

業況等について

リーマンショック以前は、新たなセラミックボールが飛びぬけて忙しいわけではなかったが、会社全体として忙しく活気があり、人手が足りない時もあった。しかし、リーマンショック後は状況が一変し、注文が全くなく在庫品ばかりを製造している日が続いた。特に環境関連の新たなセラミックボールへの影響は大きかった。現在は徐々に回復傾向にはあると感じるが、依然厳しい状況が続いている。

今後の展望・見通し

環境に配慮した新しいセラミックボールは一度に大量に出ることは少ないが、少量ずつは継続的に必要とされると思われる。必要とされるセラミックボールは時と共に変わっていくので情報収集を早く確実に行い、更なる新しいセラミックボールを創っていく必要性を強く感じる。

メリット・デメリット

メリットとしては、今まで交流のなかった業界の方との出会いがあったこと。デメリットは新規参入した業界(水処理の

業界)事情がわからず事業化に不安とロスを伴ったこと。

異業種参入時のアドバイス

特には思いあたらない。

行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度利用した経験がない。

異業種参入に際し、行政に対して望む支援

国・県・市などさまざまな助成金・補助金の支援制度があるが、情報を早くわかりやすく伝えて頂きたい。また、申請書類の作成に割かれる時間と労力は、中小企業にとっては負担が大きいため簡略化をお願いしたい。

会社概要

設立:1969年(昭和44年)6月

資本金:1,000万円

従業員数:26名

URL:<http://olive.zero.ad.jp/setochip/>